

1、 本園の教育目標

幼児の心身共に健やかな成長発達を願って、幼児の主体的活動としての遊びを十分に確保し、一人ひとりが遊びを通して興味関心を持ち、試したり考えたりする過程を大切にしたい教育を行う。また幼児期にふさわしい生活を展開されるよう適切な環境を用意し、教師との信頼関係に支えられた生活、友達と充分関わって展開する生活がなされるように配慮した教育を行う。

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

目標・計画	具体的な取り組み方法
新型コロナウイルス感染症への対応と保育の展開	今年度もコロナウイルスの影響は続くことが確実であり、昨年度同様の感染予防対策が求められるが、保健衛生面に気を付けながらも昨年度実施できなかったプール遊びやピアノに代わる電子キーボードの導入などにより例年に近い経験を子ども達ができるよう工夫する。
特別支援教育の理解と充実	年々増える配慮の必要な子どもへの対応として、年中組へも各クラス加配教育を置くとともに、年少組では必要に応じて3人体制で保育にあたり、より丁寧な保育を行う。個と集団のバランスを考える必要もある。
災害対策及び不審者対策	昨年度保育日数が少なかったことと、雨の日が重なり、園庭への避難の回数は計画より少なかったため、今年度は年間計画どおりに進むようにし、不審者対応も複数パターン行う。
保育環境の理解と充実	保育環境評価スケール（テルマホームス）を元にした環境チェックリストを園独自で作成し、これをもとに園内研修を行い、預かり保育を含む、各クラスのコーナーづくりとそのねらいを担当それぞれが発表し合い、学年にふさわしい環境構成と3学年の育ちの連続性を意識できるようにする。
職員の自己研鑽と保育の質向上	今年度も引き続き幼稚園連盟教育研究所のプロジェクトに1名の職員が参加し、6年間参加した26次プロジェクト（神戸大学大学院・北野幸子教授）は、学びを深めていく。ファシリテーション研修（全6回）にも1年間を通し参加し、園内研修に活かしていく。その他のZOOM

	や動画配信での研修にも積極的に参加する。
新人育成	幼児クラスに3名の正規職員（経験者・4大卒・短大卒）および1名のパート職員が配属されたため、自園で大切にしていることを理解し、金田幼稚園にふさわしい人材となれるよう育成にも力を入れる。園で必要な知識をQ&A集として作成し、全職員が理解把握できるようにする。
2歳児と3歳児のつながり	特別支援の側面から初めて乳児クラスから幼児クラスへ正規職員1名、パート職員1名が異動となったが、引き続き2歳児から3歳児の進級がスムーズにいくようなカリキュラムを考えていく。
自園における保育の見直し	ここ数年で子どもの姿に変化が見られるが、コロナの影響と時代の変化双方の側面から検証し、守るべきものと変化、深化させるものを園内研修や外部講師の協力を得ながら検討する。

3、 評価項目の達成及び取り組み状況

目標・計画	具体的な取り組み方法
新型コロナウイルス感染症への対応と保育の展開	デルタ株およびオミクロン株の影響により休園2回（2日）および学級閉鎖2クラス（2日ずつ）となった。保育と感染防止のバランスをはかりながらできるだけ短期間になるよう消毒業者を利用したりしながら進めてきたが、遠足の中止など、子ども達の体験の機会が減ったことは残念であった。
特別支援教育の理解と充実	支援児の増加に伴い、4歳児2クラスともに補助教員を配置し、より丁寧な保育、支援児のペースに合わせた活動ができるようになってきている。ただ、それを超えて対応を求められる園児の増加があり、3歳児クラスでの集団保育の困難さが目立った。
災害対策及び不審者対策	3月の消防署立ち合いの避難訓練では最高レベルの対応ができていると評価された。地震・火事・津波・不審者を想定した訓練が実施でき、都度振り返りも行っていることで、いつ何が起きても対応できる組織になってきていると感じている。ただし、不審者は無限のパターンが

	<p>想定できるため、引き続き対応に力を入れたい。</p>
<p>保育環境の理解と充実</p>	<p>園内研修で保育環境評価スケールを元にした環境チェックリストを園独自で作成し、これをもとに園内研修を行い、預かり保育を含む、各クラスのコーナーづくりとそのねらいを担当それぞれが発表し合い、学年にふさわしい環境構成を語り合えた。</p>
<p>職員の自己研鑽と保育の質向上</p>	<p>府や市の研修や民間の研修がオンライン化したことにより、より多くの職員が受講することができた。また園内研修により職員間での議論も活発であった。6年間の大私幼プロジェクトも終え、当園の保育場面が冊子に掲載されたりし、他園の教諭たちと作り上げたリーフレットも刊行された。</p>
<p>新人育成</p>	<p>業務が多岐にわたり、共有すべき事柄が年々増えることからQ & Aを作成し、口伝えでは限界がある事柄も1冊の冊子にまとめることにより共有しやすくなった。1年目2名がいたがフリー教員から始めることでいろいろなクラスの様々な担任の保育を見て回ることで客観的俯瞰的な目を養い、見通しを持った1年を経験することができた。常に先輩教員と過ごすことで、それぞれの活動の意味、ねらい、アドバイスをその都度受ける体制ができた。園内研修では自ら発表する場面を経験する中で、たくましく成長したと感ずる。</p>
<p>2歳児と3歳児のつながり</p>	<p>2歳児担任だった正規職員を幼児に配属し4月春休み期間のつながりの希薄さが改善され、子どもの姿に応じた関わりができた。3歳児での保育でも2歳児担任だった者と話し合う場面ができた。</p>
<p>自園における保育の見直し</p>	<p>兵庫教育大学の鈴木教授に終日来園いただき、保育へのアドバイスと園内研修を実施していただいた。3歳児および4歳児の一部の活動において、設定保育を一斉活動ではなく、設定活動をするグループと自由遊びをするグループに分け、待たせる時間を減らし、より丁寧に個々にかかわる時間を増やすようにした。</p>

① 新型コロナウイルス感染症への対応と保育の展開

【回答者A】

コロナ対策については幼稚園側だけではなく、保護者側との協力も必要であるから、子ども達の体験の機会が減ってしまうことも仕方ないと思います。

【回答者B】

コロナウイルスの影響が続く中、しっかりと安全対策を考慮して頂きながら少しでも例年通りの行事を行って頂き、子ども達の成長に必要な経験がたくさんできているなと感じます。

1つだけ残念だったのは土曜日参観がなかったことです。まだまだ状況的に難しいと思うので、行えなかった事に対しての理解はしています。

【回答者C】

金田幼稚園での感染者は最小限に抑えられていると思うし、対策もきっちりできていると思う。コロナが広がる中でも最大限の行事を実施してくれて、保護者としては感謝している。今後、コロナが落ち着いてマスクが不要になっても、手洗い・うがいの大切さは伝えていってほしいと思う。

【回答者D】

昨年以上にコロナ感染が広がる中、遠足、生活発表会、運動会など衛生面に気を付けて頂きつつ例年に近い形で行っていただき本当に感謝しています。運動会などはコロナが落ち着き次第、例年通りが良いですが生活発表会などはコロナ期と同じ形でも良いのかも…。

【回答者E】

今年も感染予防対策しながら例年のように保育ができることを望みます。

【回答者F】

コロナ対策で消毒の為、業者を呼んでいただけなのは有難かったです。

父親参観や祖父母参観も様子を見ながら再開してもらいたいと思います。

② 特別支援教育の理解と充実

【回答者A】

支援が必要な子が増加していることで、先生方にはより高度な対応が求められていて、大変だとは思いますが。子ども達それぞれの個性に合わせた保育を引き続きお願いします。

【回答者B】

配慮の必要なお子さんに対して、人数を増員しての保育で、いきとどいていると思います。

どのような子どもでも色々な個のある子と交わることは、成長し社会を知っていく上で必ず必要な経験だと思うので、どちらの子どもにとっても良い教育だと思います。

【回答者C】

確かに支援の必要な児が増えている印象はある。でも、それをわかった上で、職員

の増員や対策はしてくれていて、実際、年少で落ち着けなかった児が年長クラスになった時には生活発表会でセリフを言えたり、先生の話の聞いたりする成長も見られているので、良い結果につながっていると思う。大変だとは思いますが、このまま力を入れての保育を願う。

【回答者D】

参観などで配慮が必要な子供が増えていると感じましたが、加配の先生方の増員も分かりますし、丁寧な保育を行っていただけていたと思います。

【回答者E】

疑問としては、配慮が必要な子どもが年々増えていること…正しく向き合っただけでクラスが充実できる保育が必要だと思います。

【回答者F】

加配教育を充実していただけるのは、保護者にとっても有難い事だと思います。ただ、クラスでの集団保育が困難さが目立つ程の状況になる事が今後も増えるようであれば、保護者への負担あると思いますが、支援学校との併用などの提案などしつづ園が回るようにしていくのはどうでしょうか。（すでに行っておられたらすみません。）

③ 災害対策及び不審者対策

【回答者A】

地震発生時に、アナウンスも避難も迅速で、親として安心でした。

不審者に関しては、とにかく園内に侵入させないことが一番大事だと思うので、警備に力を入れると良いのではないかと思います。

【回答者B】

ほとんどの子ども達が経験したことの無い事に対する対策なので、理解したり判断したりするのが難しい中、回数や詳しい説明などの場をしっかりと設けて対策して頂いているので、避難訓練のあった日は子どもも「こうするねんで!」としっかりと受け止めているようです。

【回答者C】

いろんなパターンでの災害を想定しての訓練がされているので、安心してまかせられると思う。雨の日での災害パターンを考えて、それも訓練されているのなら尚、すごいと思う。

【回答者D】

昨年度より回数が少なかった様ですが子供に聞くと、地震や火災などの防災意識はきちんと持っていて、その時の対応を子供はくわしく説明してくれています。でするので、しっかりと対策が出来ているかと。

【回答者E】

対策をしっかりとしてくれていると思います。

朝も先生が門に出ていることなど。

【回答者 F】

現状で充分素晴らしい対応をしていただけていると思いました。
引き続きよろしく申し上げます。

④ 保育環境の理解と充実

【回答者 A】

担任の先生が子ども達に合わせて部屋の配置などを決めているのは、とてもいいな
と思いました。

【回答者 B】

保育、教育に対して、子どもたちの成長に対する目標をしっかりと立てる子ども達と
向き合っているのはすごく感じます。各学年に合った環境づくりや進級してい
く上での変化なども園でしっかりと一貫して取り組んで頂いているなと思っ
ているので安心してお任せできます。

【回答者 C】

各クラスでコーナーの配置が違ったり、遊びのおもちゃの種類が違ったりして、遊び
たい所で遊ぶことで異年齢や異クラスとの交流が生まれるような工夫がされてい
て、とても良いと思う。

【回答者 D】

お店屋さんごっこや、生活発表会、繋がりを持って一年を通して子供と先生で考
えて作り上げていて、3年間で自分の考えをしっかりと伝えられる様の育ち
ました。他の人の意見も聞ける様になりました。

【回答者 E】

空欄

【回答者 F】

引き続き、保育環境が充実できるよう、園内研修に力を入れていただければ、
と思います。

⑤ 職員の自己研鑽と保育の質向上

【回答者 A】

先生方が様々な研修を受けることで、保育の質が向上することは子ども達にと
って親にとっても良いことだと思うので、コロナ渦の間はオンライン講習など、
どんどん活用していけばいいと思います。

【回答者 B】

職員の方々が子供達の教育を行いながらも日々向上心を持ち、常に研修に取
り組んで頂いているのはとても嬉しいです。子供を託すのは園との信頼関係
は必須だと思うので、保育の質を向上して頂く職員の方の努力はとても安
心につながります。

【回答者 C】

ZOOMやオンラインの研修が増えて、たくさんの人へ勉強の場が提供される
のはとても良い。実際に他の園に行ったり、直接、人と話すことも大変勉
強になるので、早く

コロナが落ち着いて、そういった研修も増えるようになるといいなと思う。

【回答者D】

オンライン化してしまっても、それをプラスに多くの研修を行って頂いている様で保護者として感謝しています。

【回答者E】

空 欄

【回答者F】

園外での研修にも積極的に参加していただき有難うございます。

⑥ 新人育成

【回答者A】

新しい先生には大変なことが多いとは思いますが、金田幼稚園の先生はいい方ばかりなので、とてもいい環境だと思います。

【回答者B】

数年前に比べると新人の職員の方が増えていく中、金田幼稚園の良さが今も変わらずにあるのは、このQ&A集の作成と、共有がしっかりとされているからだと思いました。また、その事柄をしっかりと理解し、吸収して成長につなげて頂いていることは、とても素晴らしいと思います。

【回答者C】

ベテランの職員と新人が多く、中堅があまりいない印象なので、もう少し長く続くといいなと思う。金田幼稚園の良さは残しつつも、新人が多いので、新しい発想もどんどん取り入れていけたら、良いものになると思う。

【回答者D】

年々先生が増えていき、より充実した保育を行っていただけたと思います。

【回答者E】

空 欄

【回答者F】

昨年頃から、これまで担任をされていたベテランの先生方がフリーに回られ、新人の先生方が担任に就かれる事が増えているなと思っていました。ベテランの先生方もフリーに回る事により、視点が変わる事や気付きもあると思うので良い事だと感じました。

⑦ 2歳児と3歳児のつながり

【回答者A】

乳児の先生が持ち上がることで、子どもの不安が減り、保育も良い流れでできるのであれば、毎年そのようにするのが良いと思います。

【回答者B】

乳児から幼児クラスへの環境の変化で子どもへの心の負担などもある中で、先生の異

動によって少しでも軽減できれば、進級もスムーズに行えるのかなと感じます。

【回答者C】

やっと幼児と乳児の連携が取れだしてきたところだと思うので、どんぐり組から年少へのつながりを強くすることで、新しく幼稚園から入ってきた年少の支援の必要な児への対応にもっと力を入れられるようになるのではないかと思う。

【回答者D】

幼児から3歳児に上がるとき、何の問題もなく、つねに幼稚園大好きのまま5年間を送れました。

【回答者E】

空欄

【回答者F】

2歳児さんと3歳児さんの担任の配属を変える事で情報の共有なども、よりしやすくなったのではないかと思います。

今後も他学年間のつながりを大切にしていきたいです。

⑧ 自園における保育の見直し

【回答者A】

グループでの活動は協調性を養うのには良いと思います。学期ごとにグループ替えをして、いろんな子と関わって、いろんな刺激を感じながら成長できる保育であればいいなと思います。

【回答者B】

コロナ渦により子ども達の変化や時代や環境の変化にすばやく対応して頂いているなと感じます。守るべきものと必要に応じた変化を見極めることは大変なことだと思いますが、より丁寧な保育を目指して頂いてるなと思います。

【回答者C】

今の子供達は遊びを広げることに苦戦している印象がある。1つの遊び方しか知らなかったり、「何して遊んだらいい？」と聞く子が多い。モデルが必要かもしれないけど、もっと『こうやってみたら楽しいかも』『こんな風にしてみたい』という広がる自由な発想ができ、言い合えることのできる子ども達が増えて欲しいと思う。

【回答者D】

2人の子供をみて頂きました。プロの方からは色々あるかもですが保護者としては、子供2人自由にのびのびと、でも自分の意見をしっかり言える子に育てていただきました。子供に聞いても幼稚園楽しかった、大好きだったと、後小学校よりご飯が美味しいと、本当にありがとうございました。

【回答者E】

活動するグループ、自由遊びをするグループ分けは素晴らしいと思います。

【回答者F】

園外の方に直接、研修をしていただく機会をこれからも設けていただき、よりよい保育、子供達だけでなく職員の皆様にとっても充実した園生活が送れるようになっていただけたら嬉しいです。